

2024年10月16日

各 位

会 社 名 株式会社日本エスコン
代表者名 代表取締役社長 伊藤 貴俊
(東証プライム市場・コード 8892)

分譲レジデンス『SEVENS VILLA 軽井沢』、賃貸レジデンス『TOPAZ 江坂』
2024年度グッドデザイン賞受賞に関するお知らせ
～グッドデザイン賞7年連続受賞～

当社と中電不動産株式会社(愛知県名古屋市、代表取締役社長 岡本祥一、以下「中電不動産」といいます。)が手がけた分譲レジデンス『SEVENS VILLA 軽井沢』(長野県北佐久郡軽井沢町)ならびに、当社が手がけた賃貸レジデンス『TOPAZ^{トパーズ}江坂』(大阪府吹田市)が、この度2024年度グッドデザイン賞(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

当社においてグッドデザイン賞受賞は7年連続となります。



記

1. 『SEVENS VILLA 軽井沢』



【審査員コメント】

広大な敷地内に、戸建てに近い7戸の集合住宅が建つ、稀有なプロジェクトである。既存樹木を可能な限り残し、専用庭や専用テラスを設け、豊かな自然環境に溶け込むような住空間を作り出した点を高く評価した。ゲーテッドコミュニティであることについては賛否が分かれるが、ゲート自体は木々の風景に調和するようにデザインされており、景観に対する配慮が感じられる。中央に配置された駐車場部分がやや殺風景で、ヴィラズコリドーと各住戸が分断されているように見える点がいささか残念ではあるが、敷地条件を生かした豊かで良質な住宅群が実現できている。

【物件の特徴】

当該物件は、軽井沢の奥座敷と呼ばれ、静寂と深い緑に包まれた南ヶ丘エリアにおいて、約半世紀に亘って親会社である中部電力株式会社の保養地であった5,000㎡超の敷地に、当社と中電不動産が共同で手掛けた全7邸の分譲レジデンスです。両社は、長い歳月をかけて軽井沢南ヶ丘の自然が創り出した景観と、共存する住まいの新しいあり方を目指し、伝統的な日本建築の思想を先進の技術で昇華した今までにない軽井沢の別荘を追求しました。

当該物件のコンセプトは、庭と建物が一体となり調和するさまを表す日本の伝統的な考え方「庭屋一如（ていおくいちによ）」を取り入れ、広大な敷地内にある豊かな緑を最大限に活かし、全邸・街区共に自然と一体化する佇まいとなることを目指した「苑屋一如（えんおくいちによ）」です。

配棟計画では、5,000㎡超の敷地に7邸とあえてゆとりのある計画とし、その豊かな敷地を活用することで、全邸に100㎡超の専用庭やテラスを設け、プライベート空間の中で100年を経た森の景観を味わうことができるなど集合住宅でありながら戸建別荘のようなライフスタイルを実現しています。また、各邸それぞれの外観に個性を持たせながらも、屋根付きのガレージでつながりを持たせ街区の一体感を創出することで、ひとつの絵画のような景観を創出するデザインを採用しています。

自然と共存する住まいを追求し、軽井沢南ヶ丘の豊かな樹々と自然を大切に、本計画地内の既存の樹木を可能な限り残しながら、この地の風景に寄り添うような開発を実現しました。



鳥瞰



専用テラス

当該物件では、専有部内でも随所にそのコンセプトを叶える工夫を施しました。全邸に切妻屋根の特性を活かした大胆な吹抜けを設け、テラスや庭に面する開口部では高さ2.4mの大開口ラッシンを採用しています。また、屋内にいても軽井沢の木漏れ日を感じられる造りとし、リビングには薪ストーブの設置にも対応できるよう煙突を実装することで、軽井沢の冬も心ゆくまで愉しめる仕様としました。



外観



リビング

7 邸すべてに設けたプライベートガーデンは、既存樹を残しながら自然に溶け込むよう設計しました。共用部には、森の中を散策しているような仕立てとして、車路と分離した歩行者用の“Villa’s Corridor”（散策路）を設け、車を気にすることなく、安全に軽井沢の自然を満喫できる空間を提供しています。



ウッドデッキ・プライベートガーデン



Villa's Corridor

【物件概要】

物件名称：SEVENS VILLA 軽井沢

所在地：長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢字西原 1130-7 他（地番）

交通：JR 北陸新幹線・しなの鉄道線「軽井沢」駅徒歩 20 分

構造・規模：鉄筋コンクリート造地上 2 階建

総戸数：7 戸

2. 『TOPAZ 江坂』

【審査員コメント】

江坂駅から徒歩 7 分程にある高層建築が建ち並ぶ通りにある敷地である。コモンスペースを地上 10 階建ての真ん中あたりの階である 4, 5 階に配置したことで、それぞれの階から気軽に使用でき、散歩道のように建物外周部を回る屋外階段が共用空間を繋ぐことで、それぞれの階で過ごす住人の交わりを創出した素晴らしい計画である。コモンスペースは一部吹抜け空間となっており、上部から自然光が入る開放的で明るい空間となることで、自室とは違う魅力的な場となり、住み手が使いたくなるような空間となっている優れたデザインである。



外観

【物件の特徴】

当社が手掛ける賃貸レジデンスブランド「TOPAZ」シリーズの第2弾である当該物件は、日々の暮らしのなかで、自然と人に触れあえる関係性と住空間をデザインした集合住宅です。企画当時からアフターコロナを見据え、新しい生活スタイルにあった住まいとして、自室とは別に、書斎、リビングのように活用できるサードプレイスを採用しています。本スペースでは入居者が仕事や読書、天気の良い日には外部テラス部分に出てくつろぐことができるなど、入居者同士の交流を促す仕掛けをしています。日々の暮らしの中で自然と人にふれあうことができる機会が増えるような住空間を提供しました。



サードプレイス

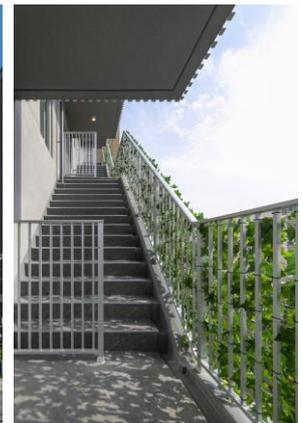


ロビー

外壁には、縦格子による波型形状のバルコニー手摺を連続的に設置することにより、隣室との隔たりを薄めると共に優しい雰囲気表現しました。また、直線的に駆け上がる屋外階段が、バルコニーを切り取るように配置されることで、特徴的な造形をより際立たせるものとなり、従来の賃貸レジデンスの画一的なデザインとは異なる特徴的な外観としました。



外観



屋外階段

物件名称：TOPAZ 江坂

所在地：大阪府吹田市垂水町3丁目36番27号

交通：Osaka Metro 御堂筋線・北大阪急行線「江坂」駅 徒歩約7分

構造・規模：鉄筋コンクリート像地上10階建て

戸数：111戸

物件サイト：<https://sumai.es-conjapan.co.jp/topazesaka111/>

TOPAZ

「TOPAZ」は、太陽の象徴とされてきた宝石のトパーズにちなみ、お住まいいただく方の暮らしを美しく輝かせ、心豊かな環境をお届けするために誕生した賃貸レジデンスの新ブランドです。

引き続き、お客様の「理想」を追求し「具現化」する、暮らしそのものを開発するライフ・デベロッパーを目指し、事業を推進してまいります。

<本件に関する問合せ> 管理部 広報・IR担当 電話 03-6230-9308

以上